

令和5年度 横浜市民意識調査 結果速報

横浜市では、市民の皆様の日常生活を意識と行動の両面からとらえ、生活意識や生活構造を明らかにし、市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的に、昭和47年度から毎年、市民意識調査を実施しています。

今年度の調査について、単純集計の結果がまとまりましたので、速報としてお知らせします。また、単純集計データをオープンデータとして公開しています。詳しくは下記の掲載 HP よりご参照ください。

今後、年齢別や地域別等の集計・分析を行い、令和6年3月頃に報告書の公表を予定しています。

調査結果のポイント

市政への満足度と要望	<ul style="list-style-type: none">・満足度が最も高いのは、16年連続で「バス・地下鉄などの便」・要望は、13年連続で「地震や台風などの災害対策」が1位
定住意識	<ul style="list-style-type: none">・これからも今の住まいに『住み続ける』としている人は7割超・横浜に住み続ける理由のうち、「長年住んでいて愛着があるから」が約4割
生活満足度	<ul style="list-style-type: none">・今の生活に『満足』している人は7割半ば・項目別では、「住まい」、「家族との関係」に『満足』している割合は約8割
心配ごとや困っていること	<ul style="list-style-type: none">・「自分の病気や健康、老後のこと」が5割を超えて最多
横浜の魅力	<ul style="list-style-type: none">・「ショッピング施設が充実しており買い物が便利である」が約5割で最多・次いで「海や港が身近にある」が約4割
地域への愛着	<ul style="list-style-type: none">・横浜に対して愛着や誇りを感じている人は7割半ば
今後の横浜のまち	<ul style="list-style-type: none">・どのようなまちになるとよいと思うかについて最も優先したいことは、「医療体制が充実している」が約5割で最多・次いで「子どもを安心して育てられる」と「高齢者や障害のある人も暮らしやすい」が4割半ばで昨年度調査に比べ大幅増

調査の概要

対象地域	横浜市全域
対象者・抽出人数	市内に居住する18歳以上の方 5,000人（外国人含む）
対象者の抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	調査票を郵送し、郵送回答又はインターネット回答により回収
調査時期	令和5年7月10日～7月31日
回収標本数	2,203票（回収率44.1%）
掲載HP	https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/shien/shiminisiki/ishiki2023.html



お問合せ先

政策局政策課担当課長 林 正隆

Tel 045-671-4202